2011-12年度　会長総括　会長　牧 文春

皆さん、こんにちは。いよいよ待ちに待ったこの日がやって参りました。次年度が３ヶ月後に迫る昨年の３月末、突然会長ノミニーから会長エレクトへとなった私は、心の準備も、まして方針や計画、会長挨拶の構想も何も考えていない状態でした。しかし、心強い舵取り役の平山幹事のもと「為せば成る」の精神で、無事今日の日を迎える事が出きました。一年間ご協力頂いた理事、委員長の皆様、そして全会員の皆様へ感謝申し上げます。それでは１年間の総括をさせて頂きます。

まず初めに、榎本理事担当のＳＡＡ委員会は、初の試みのコーヒーコーナーを設け、例会前のひと時の雑談の場となりました。また当年度限定のピアノの生演奏は如何でしたでしょうか。

次に、日高会長ｴﾚｸﾄ担当の職業分類・会員選考、会員増強委員会では、目標である純増１名にはなりませんでしたが、今日現在、期首55名、入会３名、退会３名と会員数の減少は抑えられました。ロータリー情報委員会では、親睦活動委員会と連携して、年７回の西会を開催しました。

馬場理事担当のクラブ奉仕ですが、出席・記録保存、雑誌委員会では、ロータリーの友の紹介や、出席率向上についていろいろなご意見や提案を頂きました。また、親睦活動委員会は、西会やニコニコの目標達成に力を入れられ、西会への出席はメーキャップにもつながり出席率の向上にも貢献したのではと思います。プログラム委員会は、年間28回もある卓話を、外部卓話と会員卓話をうまく組み合わせ、全て計画通り進めて頂きました。クラブ会報・広報委員会は、ペーパーレスのため会報の半数以上をメールで配信し、カラフルで読みやすい誌面作りを心掛けられたようです。次に宮脇理事担当の職業奉仕委員会では、毎回リーダーが変わる四つのテストの唱和や、10月の諏訪神社への職場訪問例会を行い、先週は、折紙ボランティアの方の職業活動表彰も行いました。特に諏訪神社への職場訪問例会は、心洗われるような厳かな例会となりました。次は、松尾理事担当の社会奉仕委員会ですが、25年も

続く地域発展・環境保全委員会によるマリア園の毛布クリーニングは、綺麗に洗濯された毛布で眠る子供たちに、毎年幸せな気持ちを届けていると思います。三宅会員には感謝申し上げます。また、今年度から平和公園へと変更になった桜の植樹祭では、植樹した染井吉野が来年の春には花を咲かせ、訪れる市民を和ませることと思います。山口理事担当の国際奉仕委員会は、ロータリー財団国際親善奨学生の派遣、交換留学生の派遣、受入れ、米山奨学生の受入れ、そしてグラバー奨学生の派遣と、例年になく忙しい委員会となりました。

例会の中での交換留学生ソリンヌさんのフランス語講座も毎回楽しく、会員がフランス語を覚えるより、ソリンヌさんが長崎弁を覚える方が早かったのではないでしょうか。フランス、韓国、中国、オランダ、イギリスと世界社会の奉仕活動が出来たのも、各委員会の委員長、カウンセラーの皆様のお陰だと思っております。

ありがとうございました。また、ロータリー財団の寄付は、目標の１人100ドルの5500ドルに対しポリオプラス1000ドルと年次寄付2800ドル、米山記念奨学寄付は目標１人11000円の550000円に対し、特別寄付275000円と普通寄付220000円と残念ながらどちらも目標達成とは行きませんでした。最後に北口理事担当の新世代委員会では、昨年10月開催予定の高島釣り大会が中止となったため、改めて施設の子供達を招待する事業を考え、今年４月にビッグＮを貸し切り「軽スポーツ大会」を開催しました。普段入る事のない球場でのスポーツ大会に、招待した子供達も喜んでいたようです。またインターアクトも海星高校での例会や、青少年事業活動に手助けをして頂き、活発に活動して頂きました。

最後になりましたが、この一年何もできない私を会長として支えていただきました平山幹事をはじめ中田事務局長、そして全メンバーの皆様に熱く感謝を申し上げます。私にとって会長としての出来事は、西ロータリークラブのホームページに写真入りで掲載され、それがもとで中国の友人、釜山コレジャーロータリークラブとの関わり合いができ、また、多くの人との出会いをいただき、ついでに釜山の企業から見積もりまでいただきました。ロータリーは奉仕団体ですが、職業奉仕といった意味合いから日高会長エレクトも冠婚はどうかと思いますが葬祭は100％・・・職業奉仕です。私も何かありましたらミディアムではなくウエルダンで徹底的に焼いてくださいますようお願いをしまして会長統括と致します。本当に一年間ありがとうございました。

≪交換留学生ソリンヌさん　留学生活報告≫

皆さん、こんにちは。日本に来て10カ月になりました。今日は最後のミーティングとなりました。何となく信じられないです。日本に来たばかりの時はちょっと戻りたいなと思っていました。去年の８月に日本に来た時は、私は全然日本語を話せませんでした。初めて日本の空気を吸い、初めて九州の暑さを知りました。一週間から二週間で生活スタイルは分かりました。例えば、靴のこと、お箸の使い方、挨拶の仕方、トイレの使い方等々。8月の初めてのオリエンテーションは伊王島であり、その時初めて他の留学生と会いました。それから彼らは私の大切な友達です。その時初めて温泉の経験をしました。びっくりしました。９月には海星高校で日本の学校の経験をしました。びっくりしたことは、髪の長さとか、スカートの長さとかルールの厳しさで、掃除もフランスはないから楽しかったです。10月にはおくんちがあり、福岡の留学生と鹿児島の留学生が集まり、みんなでコッコデショを観に行きました。とっても素敵で楽しかったです。初めての日本のお祭りだったので、一番好きなイベントでした。そして10月には海星高校の文化祭がありました。私のクラスは私がフランス人なので、クレープとマドレーヌを作りました。初めての文化祭の経験、すごく楽しかったです。11月には東京、京都、大阪に旅行に行って来ました。その時みんなでたくさん思い出を作りました。浅草を見物したときは天気が悪かったけど、国会議事堂や、富士山を見たり、初めてラーメン食べて美味しかったです。１月にはランタンフェスティバルがあって、すごく綺麗でした。そういう祭りはフランスには全然ないので楽しかったです。五島にも行きました。小学校を訪問していろいろ遊びました。五島は本当に素敵でした。佐賀の焼き物の祭りにも行きました。初めてあんなにたくさんの焼き物を見ました。佐世保の海上自衛隊の船も観に行きました。５月にはハウステンボスに行きました。バラがとっても綺麗でした。バーベキューをしたり、カラオケに行ったり、私の 19 歳の誕生日にはケーキを３つも貰いました。

今からホストファミリーのことについて話します。最初は増崎さんのところで、私は日本語が全然できませんでした。弟たちは英語が出来なかったので、コミュニケーションが難しかったと思います。でもみんなで遊んで楽しかったのでコミュニケーションできたと思いました。次は大橋先生のところで、３人の生活でした。私の部屋は畳とかこたつとか本当に日本らしい家だったので、こたつでお茶を飲んだら日本人になったと思いました。次は諫早の樋口さんの家族でした。とても素晴らしい家族で、いろんな思い出が出来ました。ホストシスターの13歳のヒナノは、とても恥ずかしがり屋だけど、毎日どんどん仲良くなって一緒に笑ったりして嬉しくて楽しかったです。お母さんはビギンの歌が好きでずっと歌って楽しかったです。最後の家族は松尾さんの所で、ここはとても素敵な所で、窓から海が見えて元気になれる本当に綺麗な所です。ここの姉弟は年が近くてとても仲良しです。リビングで話したり、遊んだり、弟とは散歩したりとても楽しかったです。最後に自分が変わったことに話します。日本語は全くできませんでした。少し勉強してきたのに、長崎弁をずっと聞いてると全然分からなくなりました。だけど「頑張ったけんが、よかったばい」。日本に来る前は子供でわがままいっぱいの人だったけど、日本に来てルールがある事を学びました。簡単な事ではなかったけど、それぞれの文化があって、それぞれに性格があるから、少しずつ他の人の気持ちを考えることを学んだと思います。これはとても良かったです。本当にお世話になりました。わからない私にいろんなことを教えて頂き、感謝してます。皆さんのお陰で日本に来ることが出来たから本当に感謝してます。毎週の例会も楽しかったし、いろんな勉強をして、いろんな素敵な人と出会えて、勉強になりました。フランスに帰っても西ロータリーのこと忘れません。西ロータリークラブは最高だから。